

がっこう
学校だより

がっこうきょういくもくひょう
【学校教育目標】

みづか まな たか
自ら学び、高めあい
い
よりよく生きようとする
いっせい
こどもの育成

桜

さくらじま

れいわ おん がつ にち
令和7年9月3日 NO. 7

がっ き しぎょうしき げつ 2学期 始業式 9/1 (月)

2学期が始まり、大きなケガや事故がなく元気に子どもたちが登校してきたことがなによりうれしいです。

始業式で校長からは、これからの時代を生きていく力を育むために、先生たちは、自分の考えをもつ時間や友だちと話す時間を取るよう工夫しているという話をしました。自分の考えをもったり友だちと話したりすることは苦手な子も多くおり、そういう子は教えられたことを覚えるだけの方が分かりやすく楽だと感じるでしょう。しかし、そのような受け身な学び方では、変化の激しいこれからの時代には適応できません。ですから、自分の考えをもつ時間や友だちと話す時間を大事にして学んでいってほしいと思います。

坂倉教諭からは、「なぜ勉強をしなければならないのか」と感じるこどもに向けて、各教科の勉強にはすべて意味があることを「りんご」を例に説明しました。『教科のめがね』をかけて物事を見ることで、見える世界が広がることを感じる事ができたとき、勉強が楽しくなるのかもしれません。

松川教諭からは、人権の話がありました。「幸せに生きる」「安心して暮らせる」「自分らしく過ごせる」それらはみんながもっている権利です。人とかかわりを大切にして過ごすことで、『学校中みんなで、みんなを大切に合わせる2学期』をめざしていきます。

子どもたちは、これらの話をとても集中して聞くことができました。たいへん立派な2学期のスタートでした。

へいわがくしゅう すい 平和学習 8/20 (水)

これからは、ご飯を残さず食べたり、ちょっとしたことでケンカしないようにしたり、人を大切にしようと思う。

今年は、日本の降伏により太平洋戦争が終結してから80年目にあたり、夏休み期間中はテレビ等で多くの特集番組が放送されていました。鈴鹿市は、戦争の真っ只中である昭和17年に誕生し「軍都」と呼ばれたそうです。桜島地区には今もその痕跡を見ることができます。戦争を体験した方の高齢化が進む中、その記憶と教訓を継承し、私たち一人一人が、世界が平和であるためにどうすればよいのかを考え続けることが大切です。8月の登校日には、各学年に応じた内容で平和学習を行い、世界平和について考える機会としました。



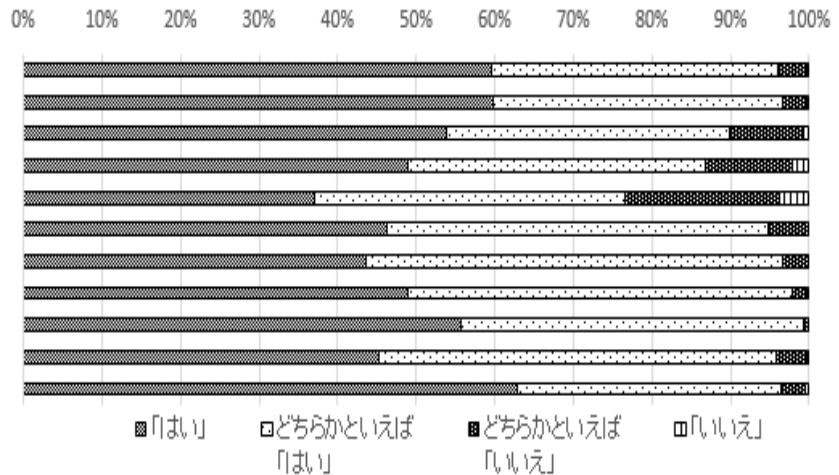
【4年】桐生小百合さんを講師に招いた出前授業

学校アンケートの結果より

7月に全校の児童と保護者の皆様にアンケートを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。結果を保護者の皆様と共有し、2学期からの取り組みにいかしていきたいと思います。

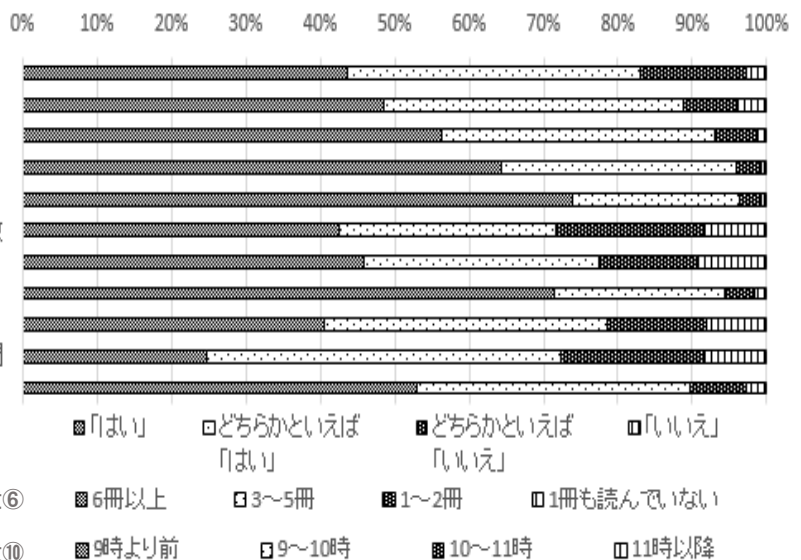
保護者アンケート

- ①子どもから学校生活の様子を聞いている。
- ②子どものよいところやがんばっているところを見つけ、ほめている。
- ③宿題等、子どもの家庭学習の様子を把握している。
- ④子どもの将来の夢などについて話したことがある。
- ⑤子どもに読書を勧めている。
- ⑥学校は、教育方針や取組・行事等をわかりやすく伝えている。
- ⑦学校は、いじめのない楽しい学校づくりに努めている。
- ⑧学校はわかりやすい授業に努めている。
- ⑨学校は保護者の相談等に適切に対応している。
- ⑩学校は地域と触れ合う学習を積極的に取り入れている。
- ⑪教科によって担当がかわる教科担任制はよいと思う。



児童アンケート

- ①誰にでもすすんであいさつしている。
- ②学校の勉強は楽しい。
- ③クロームブックを使った授業は分かりやすい。
- ④先生の話や、友達の意見をよく聞いている。
- ⑤当番や係の仕事、児童会や委員会の仕事に進んで取り組んでいる。
- ⑥1ヶ月に読んでいる本の冊数
- ⑦自分には、よいところがあると思う。
- ⑧先生は、自分の話をよく聴いてくれたり、自分のことを認めてくれたりする。
- ⑨家で学校生活についての話をする。
- ⑩月曜日から金曜日に寝る時間
- ⑪教科によって先生がかわることはよいと思う。



児童⑥ ■ 6冊以上 □ 3～5冊 ■ 1～2冊 □ 1冊も読んでいない
児童⑩ ■ 9時より前 □ 9～10時 ■ 10～11時 □ 11時以降

- ・保護者アンケート③…全体の90%が家庭学習の様子を把握していただいている。こどもの学力をつけるためには学校と家庭の連携が必要不可欠であるため、家庭学習強化週間を活用して家庭学習の様子を把握していく。宿題を確認する際にも学習状況を把握し、学年通信等で周知していく。
- ・児童アンケート⑦…否定的な回答の児童が22%であった。昨年度に比べると減ってきており、自己肯定感が上がりつつあるといえる。引き続き、保護者の皆様も教職員も、さらにこどもの自信につながるようなほめ方を模索していきましょう。
- ・児童アンケート⑩…高学年になるにつれ、寝る時間が遅くなっている。高学年児童の8割程がスマートフォン等をもってあり、日常的に夜遅くまでグループLINEのやり取りをしている子もいる。学校では、クロームブックを含めたメディアの使い方を系統的に指導する中で、相手のことを大切にすることを考えさせる。保護者の方にも同じスタンスで各ご家庭で話していただきたい。